



### ○ 佐賀県吹奏楽大会

7月27日(月)佐賀県吹奏楽大会が開催され、吹奏楽部が中学生B部門に出場しました。Valley Prelude(作曲 高橋宏樹)という曲を演奏してくれました。曲調のとおり、渓谷が迎える希望に満ちた朝、壮大な景色、動物たちの集いなどを想像できるすばらしい演奏でした。〔写真は1週間程前の練習風景〕  
結果：中学生B部門 銅賞



### ○ 夏休み学習会

夏休みに9日間、学習会を開催しました。希望者が参加し、夏休みの課題など基礎・基本の定着に向けて学習を行っていました。



### ○ 体育館の空調設備整備工事

夏休みに入り、体育館の空調設備整備の工事が始まりました。7月30日現在、工事の初期段階で体育館内部の足場を組まれています。南北のギャラリーの下に吊り下げで機材が取り付けられるとのことです。



### ○ 技術室・調理室空調設備工事

夏休みに、調理室と技術室にも空調設備が整備されました。これで教室、特別教室のすべてに空調設備が



整備されました。子どもたちの教育環境が整い、快適に学習ができるはずです。

### ○ 2学期スタート

8月25日(火)、2学期の始業式を行いました。猛暑の中でのスタートとなりましたが、冷房の効いた多目的室で快適に実施することができました。

夏休み明け、久しぶりに登校した生徒たちは、こんがり日焼けし、ひと回りたくましくなったように感じられました。一方、これまで屋外で熱心に部活動に取り組んできた3年生の中には、引退後しばらくたったことで、少し肌の色が戻った生徒の姿も見られました。長い夏休みの間、それぞれが充実した時間を過ごし、心身ともに成長した様子がかがえました。

始業式では、各学級の代表生徒が2学期の目標を発表しました。「勉強を頑張りたい」「部活動で活躍したい」など、一人一人の力強い決意が伝わってくる内容でした。

始業式前後の学級活動では、1・2年生は夏休みの課題の提出や係決めなどを行いました。3年生は初日から実力テストに臨み、いよいよ進路実現に向けて本格的に取り組む時期を迎えています。

始業式では、次のような話をしました。

〈校長の話の要約〉

4月に3年生が受けた全国学力・学習状況調査の結果を見た。国語、数学、英語のいずれも全国平均を上回り大変頑張っていた。学力面での成果はうれしいが、同時に生徒質問紙のある質問項目に注目した。その質問とは、「学級で人と違う意見を言っても否定されないと思う」というもの。この質問に対し、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した3年生は79.6%。全国平均が67.5%だから12.1ポイントも上回っていた。

学校では互いの意見から学びあう場面が多くある。しっかりと学び合うには人と違う意見を安心して言えることが条件。もし、「こんなことを言ったら笑われるかもしれない」「否定されるかもしれない」と思ったら、誰も自分の考えを話さなくなる。

今回の79.6%という数字には、互いの違いを認めながら学び合おうとする三根中学校の

良さが表れているように感じた。3年生だけでなく、1・2年生も含め、一人一人が安心して意見を言うことができ、お互いを尊重し合える三根中学校を、皆さんの力でさらに築いてほしい。

### ○ 各部委員会

8月31日（月）帰りの会終了後、各部委員会が開催されました。各学級で9月の目標等を討議した後、各部委員会に分かれて話し合いを行いました。3年生の委員長、副委員長が司会を務め、各学級から出された意見や要望をもとに、9月の活動内容や取組について熱心に協議しました。学校生活をよりよくするために、「自分たちに何ができるか」という視点で意見を出し合う姿が見られました。3年生だけでなく、1・2年生も積極的に発言するなど、全校で協力して学校づくりに取り組もうとする意識の高まりを感じました。2学期のスタートにふさわしい、有意義な委員会活動となりました。



### ○ フッ化物洗口

毎週火曜日の朝、希望者を対象にフッ化物洗口を行っています。フッ化物洗口とは、フッ化ナトリウムを含む洗口液で「ぶくぶくうがい」を行い、むし歯を予防する方法です。特に子どもの永久歯のむし歯予防に効果的とされています。フッ化物には、歯の表面を強くしてむし歯になりにくくする働きや、初期むし歯の再石灰化を促進する働き、むし歯菌の活動を抑える働きなどがあります。

歯は一生使い続ける大切な財産です。これからも健康な歯を守り、生涯にわたって自分の歯でおいしく食べ、笑顔で元気に過ごせるよう、一人一人が歯と口の健康づくりを意識していきたいものです。



### ○ 駅伝練習

10月1日に開催される地区駅伝大会に向けて、駅伝練習が始まりました。本校には陸上部はありませんが、脚力に自信のある生徒や

大会出場を目指す意欲的な生徒たちが集まり、練習に励んでいます。厳しい暑さが続く中ですが、安全面に十分配慮しながら、短時間で集中した練習を行っています。生徒たちは額に汗をにじませながらも、仲間と声を掛け合い、一生懸命に走る姿を見せていました。今後、校内で選考会を実施し、本大会に出場する代表選手を決定していきます。



### ○ 学校安全総合支援事業及び垂直避難訓練

今年度、三根校区は県教育委員会から学校安全総合支援事業のモデル地域に指定され、三根中学校を拠点として、小学校や地域、関係機関と連携しながら防災・安全教育の充実に取り組んでいます。

三根校区のハザードマップでは、水害時に多くの地域で3～5メートル程度の浸水が想定されており、防災は決して他人事ではありません。近年、全国で豪雨災害が頻発する中、子どもたちには自ら状況を判断し、適切に行動して命を守る力が求められています。

本事業を通して、学校・家庭・地域・行政が連携しながら、子どもたちが防災への理解を深め、自らの命を守るとともに、地域の安全について主体的に考え行動できる力を育てていきます。

そこで、9月2日（水）5校時、本校で初めて垂直避難訓練を実施しました。線状降水帯発生情報が発令され、中学校周辺で浸水被害が発生しているとの想定のもと、想定を超える大雨災害から生徒・教職員の安全を確保するための訓練です。生徒たちは放送の指示をよく聞き、2階の普通教室から3階の特別教室へ速やかに避難することができました。

その後、日本赤十字社の方から、避難時の判断に影響を与える「正常性バイアス」や「同調性バイアス」について話をいただきました。災害時には「まだ大丈夫だろう」と考えたり、周囲の人に合わせて行動したりすることで避難が遅れる危険があります。生徒たちは講話を通して、災害時に自ら状況を判断し、迷わず行動して命を守ることの大切さについて学ぶことができました。